

## 御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度事業) 効果検証シート もくじ

番号	項目	国の交付金メニュー
1	移住促進体験ツアー、お試し暮らし滞在費補助事業	基礎交付金
2	パッションフルーツの栽培拡大(《パッションフルーツ生産と地魚の粕漬け》)	基礎交付金
3	観光客誘致キャンペーン	基礎交付金
4	観光イベントの充実	基礎交付金
5	近隣市町連携事業	基礎交付金
6	総務省連携事業(移住ナビ)	先行型交付金
7	生涯活躍のまち推進事業	加速化交付金

御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度事業) 効果検証シート20171025

1 基本情報

(1)事業名	移住促進体験ツアー、お試し暮らし滞在費補助事業		ページ	23						
位置付け	基本目標B 移住促進と交流人口の増加 ①若者の移住・定住化を促進									
実施期間	開始年度	平成27年度	担当課	企画財政課						
	終了年度	平成31年度								
根拠法令										
関係計画	御宿町総合計画									
予算科目	会計	一般	款	2	項	1	目	4	事業	定住化促進事業

2 事業目的・概要(PLAN)

目的	対象(誰・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
	・地方への移住検討者 ・2地域居住の検討者	・社会動態の増加(転入者の増) ・交流人口の増加
手段	<input checked="" type="checkbox"/> 行政(直営) <input type="checkbox"/> 町民・各種団体 <input type="checkbox"/> その他	
	御宿町の自然環境の良さを体験してもらう内容の移住体験ツアーを行う。また、お試し暮らしができる施設の提供を図り、移住促進に取り組む。	
町民ニーズ		

3 活動状況(DO)

実施内容	・移住体験ツアー:農作物の収穫体験や地域住民との交流会、アジ釣り体験などを行った。(平成27年10月10日、平成28年10月8日、平成29年10月14日(中止)) ・お試し暮らしができる施設の提供・補助制度の運用 (平成27年度1組2名、平成28年度8組17名、平成29年度1組2名(9月末))							
課題への対応状況	体験ツアーアンケートにおいて、もっと町内を散策したいとの意見が多くあったので、余裕があるスケジュールにしたところ好評であった。							
重要業績評価指数 (上段:目標、下段:実績)		単位	H26	H27	H28	H29	H30	H31
①	移住体験ツアー参加者	人	30(29)	20(11)	20(24)	20(21) 雨天中止		
②	お試し暮らし補助申請者	人		12(2)	6(17)	10(2)		
	転入者数	人			5			

4 事業内容評価・コスト分析(CHECK)

自己評価	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> やや不良 <input type="checkbox"/> 不良		
	体験ツアーにおいて多くの参加者に御宿町の良さをPRできているが、それ以上にいたっていない。お試し暮らし施設を活用しながら、これまでと違ったアプローチで移住促進施策に取り組んでいく必要がある。		
環境変化	項目	変化の有無	変化の内容
	町民ニーズの動向		
	国・県・他自治体の動向		

コスト(千円)	区分	H26決算	H27決算	H28決算	H29予算	H30予算	H31予算	
	事業費(千円)	A	748	713	481	404		
	合計	B	748	713	481	404		
	財源内訳	国庫支出金		713				
		県支出金						
		使用料等	C					
		その他特定財源						
	一般財源		748		481	404		
	分析指標	職員数	常勤	1	1	1	1	
			非常勤					
指標コスト		B/評価指数(千円)	25	54	11	13		
住民1人当たり負担額		B/人口(円)	96	91	63	53		
受益者負担率		C/B(%)						

※1 人口は各年度の3月31日末現在の住民基本台帳登録人口を用いる。7,655人

5 今後の方向性(ACTION)

今後の課題	・体験ツアーにおいて多くの参加者に御宿町の良さをPRできているが、それ以上にいたっていない。お試し暮らし施設を活用しながら、これまでと違ったアプローチで移住促進施策に取り組んでいく必要がある。 ・他の自治体でも同様のイベントを開催している場合が多い。		
今後の方向性	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政(直営) <input type="checkbox"/> 町民・各種団体 <input type="checkbox"/> その他	
	投入資源	事業費 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 人員 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	
今後の方針	人口が少なくとも御宿で安心して暮らし続けることができる定住施策を中心に、都市部からの移住促進や2地域居住、交流人口の増加策など、多様な暮らし方に対応したまちづくりをバランスよく進める必要がある。		

6 外部評価意見

第2回委員会:平成29年10月31日(火)  
 ○移住促進体験ツアー、お試し暮らし補助制度について、募集人数や補助申請者数の目標数値の設定が低いのではないかと？  
 ○大学側からみると、千葉工大新入生オリエンテーションで140人、子ども工務店事業で約80人が御宿町に訪れる。この数値がKPIにあがってこない。少なくとも交流人口の数値設定はできると思う。使える数字をもっと設定すればよいのでは？メキシコとの交流人口など、もっと生かせる数値もある。KPIが全体的に控えめである。  
 ○ふるさと納税を行ってくれた方に移住候補者としてきめ細かな情報提供をすればよい。  
 ○役場の職員を増やすなどして、若者Uターン・ターンできる環境を整えてはどうか。  
 ○地方移住の場合、自治体が一軒家などを無料で提供する話はよくあるが、御宿町の取組みはどうか？

御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度事業) 効果検証シート20171025

1 基本情報

(2)事業名	パッションフルーツの栽培拡大(≪パッションフルーツ生産と地魚の粕漬け≫)		ページ	20						
位置付け	基本目標A 地域産業の創生と雇用の拡大 ⑤農・水産業の持続と6次産業化の推進									
実施期間	開始年度	平成27年度	担当課	産業観光課						
	終了年度	平成31年度								
根拠法令										
関係計画	御宿町総合計画									
予算科目	会計	一般	款	5	項	1	目	3	事業	農業振興関係事務事業

2 事業目的・概要(PLAN)

目的	対象(誰・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
	・パッションフルーツ:農業者 ・地魚の粕漬け:漁協	・パッションフルーツ:生産と販売を安定させ、御宿町の特産品とする。 ・地魚の粕漬け:安価な魚種に付加価値を付け販売促進を図る。
手段	<input type="checkbox"/> 行政(直営) <input checked="" type="checkbox"/> 町民・各種団体 <input type="checkbox"/> その他	
	・農業振興の一環としてパッションフルーツの栽培に取り組む。産品開発に必要な量の確保を図るため生産圃場の整備・管理・拡充を図り、効率的増産に向けた支援を行う。 ・イナダやメダイは、金目鯛と漁獲の時期が重なり安価となることから、加工品(粕漬け)としての販売を推進する。イナダとメダイの粕漬け加工に必要な環境を整え、試作品開発の支援を行う。	
町民ニーズ		

実施内容	・パッションフルーツの計画的な栽培。(H27:岩の井協力のもと、パッションフルーツ酒を試作) ・地魚の粕漬けの生産向上・PR・販路拡大。1袋250円で販売。漁協ホームページや町内イベントで直売。						
課題への対応状況	・千葉県農業事務所の指導を受けながら、圃場での作付け技術の向上に取り組んでいる。 ・水産事務所等と連携を図りながら、商品のPR活動・販路拡大に向けた取組みを行っている。						
重要業績評価指数(上段:目標、下段:実績)	単位	H26	H27	H28	H29	H30	H31
① パッションフルーツ生産量	kg		500(150) (1,500個)	200(20) (200個)	200 2,000個		
② 新製品開発品	kg		2(2)				

4 事業内容評価・コスト分析(CHECK)

自己評価	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好(粕漬) <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> やや不良 <input checked="" type="checkbox"/> 不良(パッションフルーツ)		
	・パッションフルーツ:H28:農業事務所とともに生産に取り組んでいるが、ツルが伸びず育たない状況にある。また、気候にも左右される作物であるため生産量が伸び悩んでいる。 ・地魚の粕漬け:安定して生産できる状況にあるが、販売ルートの検討が必要である。		
環境変化	項目	変化の有無	変化の内容
	町民ニーズの動向		
	国・県・他自治体の動向	有	千葉県農業事務所の指導のもと、安定的な生産に向けた取組みを引き続き進めている。

コスト(千円)	区分	H26決算	H27決算	H28決算	H29予算	H30予算	H31予算
	事業費(千円)	A	1,936	100	300		
財源内訳	合計	B	1,936	100	300		
	国庫支出金 県支出金 使用料等 その他特定財源 一般財源		1,936				
分析指標	職員数	常勤	1	1	1		
		非常勤					
	指標コスト	B/評価指数(千円)	12	5	1		
	住民1人当たり負担額	B/人口(円)	249	13	39		
	受益者負担率	C/B(%)					

※1 人口は各年度の3月31日末現在の住民基本台帳登録人口を用いる。7,655

5 今後の方向性(ACTION)

今後の課題	・パッションフルーツ:生産性向上を図るため、農業事務所と協力して原因を探る。(ウイルス、連作障害等) ・地魚の粕漬け:PR活動の方法を検討。単品販売でなく詰め合わせなどで販売できないか検討中。	
今後の方向性	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 行政(直営) <input checked="" type="checkbox"/> 町民・各種団体 <input type="checkbox"/> その他
	投入資源	事業費 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 人員 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小
今後の方針	・パッションフルーツ:安定して生産ができるよう、研究しながら生産向上を目指す。 ・地魚の粕漬け:単品販売だと原価が高いため、セット販売など付加価値をつけて販売したい。PR活動と販路の拡大	

6 外部評価意見

第2回委員会:平成29年10月31日(火)  
 ○今年、パッションフルーツを作ったが実はほとんどつかなかった。引き続き実施するのであれば、量も必要なので農家だけでなく一般の方にも普及できればいい。  
 ○魚の加工なので安い原料でつくるのが基本である。イカも不漁により価格が高騰し、イカの沖漬けも安定生産できない状況にある。イナダ・ブリ・メダイも安価ではないので原価は高くなる。品質は良いが大量販売は難しい。セット販売を目指して引き続き進めたい。  
 ○パッションフルーツの生産量が増えた場合、パッションフルーツ狩りはどうか？  
 ○パッションフルーツより認知度があって効率がいいものに変えたほうがいいのでは？  
 粕漬けは、キンメなど良いものを使った粕漬けもいいと思う。(岩の井ブランドと外房釣りキンメのブランド力を生かす)

御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度事業) 効果検証シート20171025

1 基本情報

(3)事業名	観光客誘致キャンペーン		ページ	15
位置付け	基本目標A 地域産業の創生と雇用の拡大 ②観光資源の発掘と時代のニーズに対応した取組み			
実施期間	開始年度	平成27年度	担当課	産業観光課
	終了年度	平成31年度		
根拠法令				
関係計画	御宿町総合計画			
予算科目	会計	一般	款	6
			項	1
			目	3
			事業	観光関係事務事業

2 事業目的・概要(PLAN)

目的	対象(誰・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
	・海外からの観光客 ・観光客	・外国人旅行者の増加を図る。 ・観光客の認知度向上と滞在日の増加
手段	☑行政(直営) □町民・各種団体 □その他	
	豊かな自然環境を有する御宿町は、年間を通じて様々な特色あるイベントを実施しているが、観光客のニーズは多様化している。そのため、ラジオ等のメディアを活用した宣伝活動や都市部でのプロモーション活動を地域の各種団体と連携して取り組む。	
町民 ニーズ		

3 活動状況(DO)

実施内容	・ベイFMを活用したキャンペーンを実施した。ベイFM御宿オリジナルグッズを製作しPR活動で活用した。 ・広域連携キャンペーンで御宿ブースを出展。物産品PRを行った。 ・御宿町に入る主要道路に案内看板の設置。(勝浦市内、上布施)						
課題への対応状況	・御宿町の知名度は下がっているため、広域連携キャンペーンで御宿町独自のPRIに取り組んでいる。						
重要業績評価指数 (上段:目標、下段:実績)	単位	H26	H27	H28	H29	H30	H31
① 夏季観光宣伝	社		1(1)	1	2		
② 多言語案内看板	所		6(6)	2	1		
③ 多言語ガイドブック作成	部		40000 (40000)		18000 (リニューアル)		
④ エピアミーゴの製作	体		1(1)				
⑤ 入浴剤の購入	個		7000 (6800)		1,000		

4 事業内容評価・コスト分析(CHECK)

自己評価	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> やや不良 <input type="checkbox"/> 不良		
	・広域キャンペーンにおいて御宿単体でブースを設置し、イベント情報や物産品の紹介を行った。また、歌手やアイドルから「御宿町」の名称を反復してもらい、認知度向上につなげた。		
環境変化	項目	変化の有無	変化の内容
	町民ニーズの動向		
	国・県・他自治体の動向	有り	2020オリンピック関連 外国人旅行者の増加

コスト (千円)	区分	H26決算	H27決算	H28決算	H29予算	H30予算	H31予算	
	事業費(千円)	A	7,158	3,312	1,518			
	合計	B	7,158	3,312	1,518			
	財源内訳	国庫支出金		7,158				
		県支出金						
		使用料等	C					
		その他特定財源						
		一般財源			3,312	1,518		
	分析指標	職員数	常勤	1	1	1		
			非常勤					
指標コスト		B/評価指数(千円)						
住民1人当たり負担額		B/人口(円)	920	432	198			
受益者負担率		C/B(%)						

※1 人口は各年度の3月31日末現在の住民基本台帳登録人口を用いる。7,655人

5 今後の方向性(ACTION)

今後の課題	・来町者の満足度の向上により、御宿ファン・リピーターを獲得する。 ・既存事業の見直しを含め時代の流れに対応した取組みを推進する。		
今後の方向性	事業実施主体	☑行政(直営) □町民・各種団体 □その他	
	投入資源	事業費 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 人員 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	
今後の方針	・2020東京オリンピックを見据えて、訪日観光客に対するPRの手法について検討する必要がある。 ・町内事業者のPRキャンペーンの参加促進(夏季シーズン前の実施に向けて)		

6 外部評価意見

第2回委員会:平成29年10月31日(火)  
 ○御宿町の知名度は昔と比べ下がっているため、京葉線の通路に看板を設置したら良いのでは?  
 ○おんじゅく伊勢えび祭りについて、いすみ市でも開催される。漁獲量もいすみ市のほうが多い。検証シートでイベントの来町者数が明記されていて、数字だけだと減少しているように感じにくい、実際のイベント会場ではかなり減っていると肌で感じている。今年は、天候不順かつ不漁で価格も上昇した。今後は、ほかのイベントなり色々と考えないといけない。  
 ○御宿町はTVの露出が少ない。フィルムコミッションなど、ロケ誘致も必要だと思う。  
 ○御宿の湯をもっと宣伝していただきたい。御宿を応援してくれる千葉県有名タレントの活用。

御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度事業) 効果検証シート20171025

1 基本情報

(4)事業名	観光イベントの充実		ページ	15
位置付け	基本目標A 地域産業の創生と雇用の拡大 ②観光資源の発掘と時代のニーズに対応した取組み			
実施期間	開始年度	平成27年度	担当課	産業観光課
	終了年度	平成27年度		
根拠法令				
関係計画	御宿町総合計画			
予算科目	会計	一般	款	6
			項	1
			目	3
			事業	観光関係事務事業

2 事業目的・概要(PLAN)

目的	対象(誰・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
	町民・観光客	・外国人観光客等の誘致と受入体制の整備 ・御宿産伊勢えびの消費の拡大と外房・伊勢えびのブランディング
手段	☑行政(直営) ☐町民・各種団体 ☐その他	
	・伊勢えびを活用したイベントを実施し観光客の誘致を進めたほか、プール入場者の増加を図るため、場内イベントを行う。 ・既存の施設内トイレの便器を和式から洋式に交換するなど、おもてなし観光トイレ整備を実施。また、記念館周辺におけるインターネット接続の環境を整え、観光客に快適なネット環境を提供する。(H27完了)	
町民ニーズ		

3 活動状況(DO)

実施内容	・平成28年9月1日～10月31日:伊勢えび祭りを開催。 ・平成28年7月30～31日、8月20日～21日:おんじゅくDEMeCoを町営プールで開催。						
課題への対応状況	・伊勢えび祭りのメディア告知を行い、誘客増加を図った。 ・町営プールでメキシコにちなんだイベントを開催。プール利用者の付加価値を高め満足度向上に努めた。						
重要業績評価指数 (上段:目標、下段:実績)	単位	H26	H27	H28	H29	H30	H31
① 伊勢えび祭りの開催	人		35,000 (32,000)	35,000 (30,000)	35,000 (32,000)		
② 町営プールイベント	人		18,000 (19,951)	20,000 (20,024)	20,000 (17,412)		
③ 記念館等トイレ便座整備	所		11(11)				
④ 記念館WiFi整備	所		1(1)				

4 事業内容評価・コスト分析(CHECK)

自己評価	☐ 極めて良好 ☐ 良好 ☑ 概ね良好 ☐ やや不良 ☐ 不良			
	・伊勢えび祭りメディア告知の後は来客数が増えるため、PR効果がわかりやすく消費拡大につながった。 ・町営プール内のイベント開催が定着しつつある。プールで泳ぐ以外の付加価値により入場者数の増加につながっている。			
環境変化	項目	変化の有無	変化の内容	
	町民ニーズの動向			
	国・県・他自治体の動向			

コスト(千円)	区分	H26決算	H27決算	H28決算	H29予算	H30予算	H31予算	
	事業費(千円)	A	2,346	1,804	854			
	合計	B	2,346	1,804	854			
	財源内訳	国庫支出金		2,346				
		県支出金						
		使用料等	C					
		その他特定財源						
		一般財源			1,804	854		
	分析指標	職員数	常勤	1	1	1		
			非常勤					
指標コスト		B/評価指数(千円)						
住民1人当たり負担額		B/人口(円)	301	235	111			
受益者負担率		C/B(%)						

※1 人口は各年度の3月31日末現在の住民基本台帳登録人口を用いる。7,655人

5 今後の方向性(ACTION)

今後の課題	(伊勢えび祭り) ・いすみ市で同様のイベントが開催されているため、御宿町独自の取組みが求められる。 ・継続して実施しているなかで、メインイベントにおける小イベントが来町者のニーズに合っているのか、検討する必要がある。			
今後の方向性	事業実施主体	☑行政(直営) ☐町民・各種団体 ☐その他		
	投入資源	事業費	☐ 拡大	☑ 現状維持 ☑ 縮小
		人員	☐ 拡大	☑ 現状維持 ☐ 縮小
今後の方針	・(伊勢えび祭り):いすみ市で同様のイベントが開催されている。御宿産伊勢えびをどのように地域活性につなげるか、イベント内容や運営体制の抜本的な見直しを図る必要がある。 (町営プール):プールで泳ぐ以外の企画イベントの取組みで付加価値を高める。			

6 外部評価意見

第2回委員会:平成29年10月31日(火)  
○町営プールのイベント開催は充実しているが、プール横の林に鳥が大量発生して、ファンや匂いなど衛生面が気になった。また、シャワー施設も古くなって水が出ている。タイルも剥がれているので整備してほしい。  
○海やプール開設だけではお客さんをお呼びできなくなっている。様々なイベントを開催して入園数が増加していいと思うが、浮き具を使ったアトラクションなどの取組みも面白いと思う。

御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度事業) 効果検証シート20171025

1 基本情報

(5)事業名	近隣市町連携事業	ページ	14
位置付け	基本目標A 地域産業の創生と雇用の拡大 ①観光資源のネットワーク化と近隣自治体と連携した観光の魅力アップ		
実施期間	開始年度	平成27年度	担当課
	終了年度	平成31年度	
産業観光課			
根拠法令			
関係計画			
予算科目	会計	一般	款
		6	項
		1	目
		3	事業
	観光関係事務事業		

2 事業目的・概要(PLAN)

目的	対象(誰・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
	町民、観光客	・交流人口の増加 ・町民主体の事業実施
手段	<input type="checkbox"/> 行政(直営) <input checked="" type="checkbox"/> 町民・各種団体 <input type="checkbox"/> その他	
	商工会(女性部)が中心となって実施している「おんじゅくまちかどつるし雛めぐり事業」を勝浦市のビック雛祭りと同様で実施することにより、御宿町への人の流れを創出する。	
町民ニーズ	観光客が少ない春季の交流人口の増加を図る。	

3 活動状況(DO)

実施内容	勝浦市との合同によるおんじゅくまちかどつるし雛めぐり事業を支援した。また、御宿-勝浦をつなぐ巡回バス運行を行った。							
課題への対応状況	巡回バスの停留場所を3か所から5か所に増やした。(1勝浦キュステ、2御宿駅、3おおたや前、4須賀多目的広場、5記念館)							
重要業績評価指数(上段:目標、下段:実績)		単位	H26	H27	H28	H29	H30	H31
①	イベント参加人数	人		10,000 (12,000)	12,000 (15,313)	20,000		
②		人						

4 事業内容評価・コスト分析(CHECK)

自己評価	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> やや不良 <input type="checkbox"/> 不良		
	御宿-勝浦をつなぐ巡回バスの継続実施・停留所増設により集客数が増加した。		
環境変化	変化の有無		変化の内容
	町民ニーズの動向		
	国・県・他自治体の動向	有	半島振興広域連携促進事業補助金

コスト(千円)	区分	H26決算	H27決算	H28決算	H29予算	H30予算	H31予算	
	事業費(千円)	A	2,702	494	500			
	合計	B	2,702	494	500			
	財源内訳	国庫支出金		2,702				
		県支出金			130	133		
		使用料等	C					
		その他特定財源						
	一般財源			364	367			
	分析指標	職員数	常勤	1	1	1		
			非常勤					
指標コスト		B/評価指数(千円)	0.225	0.032	0.025			
住民1人当たり負担額		B/人口(円)	347	64	65			
受益者負担率		C/B(%)						

※1 人口は各年度の3月31日末現在の住民基本台帳登録人口を用いる。7,655人

5 今後の方向性(ACTION)

今後の課題	・来町者の増加に伴い受入体制を整える必要がある。(案内人が少ない)		
今後の方向性	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 行政(直営) <input checked="" type="checkbox"/> 町民・各種団体 <input type="checkbox"/> その他	
	投入資源	事業費 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 人員 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	
今後の方針	・勝浦市との合同イベントとして、県補助金を活用しながら引き続き実施する。 ・実行委員会方式で運営を行い、受入体制を整える。		

6 外部評価意見

第2回委員会:平成29年10月31日(火)  
 ○勝浦のビック雛祭りと同様で御宿町のつるし雛巡りの合同開催で、目標数値である平成27年度の1万人、平成28年度の1万2千人を目指し、それぞれ達成できた。平成29年度は2万人を目指している。検証シートでは、事業費と人員は現状維持になっているが、ともに拡大していければと考えている。  
 ○また、実行委員会方式での実施により、経済効果を持ったイベントに成長させたい。

御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年度事業) 効果検証シート20171025

1 基本情報

(6)事業名	総務省連携事業(移住ナビ)		ページ	23
位置付け	基本目標B 移住促進と交流人口の増加 ①若者の移住・定住化を促進			
実施期間	開始年度	平成27年度	担当課	企画財政課
	終了年度	平成31年度		
根拠法令				
関係計画				
予算科目	会計	一般	款	2
			項	1
			目	4
			事業	定住化促進事業

2 事業目的・概要(PLAN)

目的	対象(誰・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
	・地方への移住検討者 ・2地域居住の検討者	・社会動態の増加(転入者の増) ・交流人口の増加
手段	<input checked="" type="checkbox"/> 行政(直営) <input type="checkbox"/> 町民・各種団体 <input type="checkbox"/> その他	
	総務省運用のホームページ「移住ナビ」の充実を図る。移住ナビでは、御宿町への移住を検討するための情報を様々な項目から検索できるようにするなど、移住情報専用のホームページとして運用する。	
町民ニーズ		

3 活動状況(DO)

実施内容	・全国移住ナビの御宿町ページの更新・充実を図った。						
課題への対応状況	全国移住ナビへの掲載項目すべてに対応できていないため、順次、更新できるよう準備している。						
重要業績評価指数(上段:目標、下段:実績)	単位	H26	H27	H28	H29	H30	H31
① 移住体験ツアー参加者	人	30(29)	20(11)	20(24)	20(21) 雨天中止		
② お試し暮らし補助申請者	人		12(2)	6(17)	10(2)		
転入者数	人			5			

4 事業内容評価・コスト分析(CHECK)

自己評価	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> やや不良 <input type="checkbox"/> 不良 ・千葉県内の自治体と比較すると充実したページ構成になっている。 ・各項目のアクセス状況は県内上位であり、維持している。		
環境変化	項目	変化の有無	変化の内容
	町民ニーズの動向		
	国・県・他自治体の動向	有	○千葉県(H29.7~9月) ・ローカルホームページ:1位いすみ市、2位御宿町、3位館山市 ・動画:1位いすみ市、2位御宿町、3位銚子市、4位大網白里市

コスト(千円)	区分	H26決算	H27決算	H28決算	H29予算	H30予算	H31予算	
	事業費(千円)	A	1,944	0	699			
	合計	B	1,944	0	699			
	財源内訳	国庫支出金		1,944				
		県支出金						
		使用料等	C					
		その他特定財源						
		一般財源				699		
	分析指標	職員数	常勤	1		1		
			非常勤					
指標コスト		B/評価指数(千円)	149		23			
住民1人当たり負担額		B/人口(円)	250		91			
受益者負担率		C/B(%)						

※1 人口は各年度の3月31日末現在の住民基本台帳登録人口を用いる。7,655人

5 今後の方向性(ACTION)

今後の課題	・全国版の移住専用HPであるため、「千葉県御宿町」のページを見てもらう工夫が必要である。 (※全国すべての自治体のページがある)		
今後の方向性	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政(直営) <input type="checkbox"/> 町民・各種団体 <input type="checkbox"/> その他	
	投入資源	事業費 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 人員 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	
今後の方針	・移住ナビの御宿町ページの充実(更新)を引き続き実施する。 ・千葉県御宿町の情報が目に入るPR方法として、御宿での暮らしをイメージできるPVを制作し、移住ナビでも配信している。その他、SNSによる拡散も効果があるため、その手法も研究し積極的に取り組む。		

6 外部評価意見

○特になし
-------

1 基本情報

(6)事業名	生涯活躍のまち推進事業		ページ	33
位置付け	基本目標D 高齢者が安心して住み続けられる環境づくり ①御宿版CCRC構想の策定に係る検討・推進			
実施期間	開始年度	平成28年度	担当課	保健福祉課
	終了年度	平成31年度		
根拠法令				
関係計画	御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略			
予算科目	会計	一般	款	2
			項	1
			目	4
			事業	

2 事業目的・概要(PLAN)

目的	対象(誰・何を)	意図(どういう状態にしたいか)
	メイン:地域住民 サブ①生涯活躍のまち関連施設で働く若者・子育て世代 サブ②都市部の高齢者	町内に住む元気な高齢者やケアを要する高齢者を主な対象者とし、誰もがいつまでもいきいきと暮らせるまちづくりを目指す。
手段	<input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 町民・各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (全体)御宿版CCRC構想を策定。国の支援を受けて推進する場合は、地域再生計画を策定し認定を受ける。「生涯活躍のまち」事業の運営機能を担う事業主体を公募等で選定。構想を具体化した計画を作成し、高齢者住宅や地域交流拠点等の整備と各種ソフト事業を推進する。	
	町民ニーズ	

3 活動状況(DO)

実施内容	全体像となる構想は平成29年3月に策定しました。本事業の取り組む課題解決は、平成29年度以降の詳細検討段階で具体策の検討を行う。 H28:生涯活躍のまち・おんじゅく(御宿版CCRC)構想)を策定。 H29:地域再生計画の策定(協議中)						
課題への対応状況							
重要業績評価指数 (上段:目標、下段:実績)	単位	H26	H27	H28	H29	H30	H31
① 介護・医療サービス企業の誘致	件						
② 2015高齢者保健福祉計画、第6次介護保険事業計画の介護認定率を下げる	%						20.1%以下
③ JR乗降客数の確保(年)	人						511,000

4 事業内容評価・コスト分析(CHECK)

自己評価	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好 <input type="checkbox"/> やや不良 <input type="checkbox"/> 不良 H28:生涯活躍のまち推進における構想(「生涯活躍のまち・おんじゅく(御宿版CCRC)構想」)を策定		
	項目	変化の有無	変化の内容
環境変化	町民ニーズの動向		
	国・県・他自治体の動向		

コスト(千円)	区分	H26決算	H27決算	H28決算	H29予算	H30予算	H31予算	
	事業費(千円)	A		15,445	5,170			
	合計	B		15,445	5,170			
	財源内訳	国庫支出金			15,445			
		県支出金						
		使用料等	C					
		その他特定財源						
	一般財源				5,170			
	分析指標	職員数	常勤		1	1		
			非常勤					
指標コスト								
B/評価指標(千円)								
B/人口(円)								
受益者負担率 C/B(%)								

※1 人口は各年度の3月31日末現在の住民基本台帳登録人口を用いる。7,655人

5 今後の方向性(ACTION)

今後の課題	御宿町生涯活躍のまち推進協議会や町議会、ワークショップの開催等により、取組内容の具体化を進め、地域住民や地域組織の参加、参画事業者や協力事業者へのアプローチなどを進める必要がある。 ・事業実施主体の検討 ・事業所の参加		
今後の方向性	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 町民・各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
	投入資源	事業費 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 人員 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小	
今後の方針	事業詳細の具体化に向けた検討及び事業実施主体の協議・検討を行う。 (生涯活躍のまち・おんじゅくの全体像) ・生涯にわたる活躍の場・機会と安心をつくることで地域に活気と人材と雇用をつくる。 ・若者・子育て世代の定着を図り、持続的なまちづくりを目指す。		

6 外部評価意見

第2回委員会:平成29年10月31日(火)  
 ○地域再生計画について説明してほしい。  
 ・御宿版CCRC構想は、住民が健康で安心して住み続けられる町をつくるということであり、昨年度に作成した。構想は概念的なもので、具体的な内容は地域再生計画の中で示す。(H29に策定)  
 地域再生計画に基づいた事業は国の交付金が交付される。  
 ○大学としても生涯学習、生涯教育という部門でお手伝いできる。